

小学生五年・六年生レヴェル国語文章問題 001 解答と解説

次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

ゴジュウカラをいう鳥を知っていますか。背中はブルグレー色をしていてお腹のあたりは白いスズメくらいの大きさの鳥で、木の幹に垂直に下向きに止まることができます。

「そんな鳥見たことないけど」と思うかもしれませんが森林だけではなく街中の公園などでも見かけます。ゴジュウカラだけではなく、シジュウカラ、ヤマガラ、ヒガラ、ハシブトガラ、シマエナガ、セグロセキレイなども街中ではよく目にする鳥たちです。特に冬は山に木の実などが少なくなるせいか、街路樹や庭木などでも見かける機会が多くなります。

では、なぜ私たちは普段はこれほど多くの鳥たちを見かけることがないのでしょいか。それはこれらの種類の鳥たちが私たちの生活圏にいないのではなく、私たちが認識していないからです。

私たちはおそらく普段、鳥たちをスズメ、ハト、カラスくらいにしか認識していません。ですから歩いている時にゴジュウカラがすぐそばにいても、スズメだと思い込んでいて気にもかけません。ここまで鳥の話題の具体例

こうしたことは鳥だけではなく、日常のあらゆることで起こっています。

ア、自動車に詳しくない人は、そのあたりの道路で走っている車を大きさや色などで漠然^{ばくぜん}としか見分けられないでしょう。しかし自動車に詳しい人は、大きさや色が似ている車でも、どのメーカーの何という車種なのかすぐに判別^{はんべつ}がつくでしょう。自動車の具体例

同じように、スマホの最新機種に詳しい人なら、他人のスマホをチラッと見ただけで、それがアンドロイド系なのか 아이폰なのか、今年の機種なのか数年前のものか即座^{そくざ}にわかるでしょう。イ スマホに詳しくない高齢者からすれば、どれもただの携帯ということになります。

このように、認識^{にんしき}というのは人それぞれ違っています。同じ物や同じ現象を見ていても、人によって捉え^{とら}え方が違うものですし、理解度も違うのです。そして、その認識の違いを越えて理解し合うことは簡単ではないのです。この段落が筆者の主張・結論

以前に保護者から「英語なんて文法ちょっとやって、あとは英単語を覚えちゃえばなんとかなののに、うちの子は・・・」のように言われて返答に困ったことがあります。また具体例

今は、昔のような文法問題のための文法ではなく英語を理解するための文法の勉強ですし、単語を覚えることは重要ですが、それだけでは英文を読んで理解することはできません。しかし、ほとんどの保護者は最後の受験勉強を終えてから二十年以上も経っていて、現在の勉強をしているわけではないので、そうした従来の認識を変えることは難しいものなのでしょう。

(編井 一樹「いびつな真珠を上手く弾く」より)

問一 次の選択肢のうち、本文と合っているものはどれか。

- 1 街中にはスズメ、ハト、カラスの三種類の鳥しかない。 本文に書かれていない。
- 2 自動車に詳しい人なら、似ている車もどこの会社の車なのかすぐわかる。 ◎
- 3 若い人はスマホの最新機種に詳しいが、高齢者は詳しくない。若い人 とは書かれていない。
- 4 自動車が好きな人は機械類全般に詳しいので、ほとんどの場合スマホにも詳しい。 本文に書かれていない。

問二 本文で筆者の主張（もつとも伝えたいこと）を次の選択肢から選べ。

- 1 私たちの身の回りには多くの種類の鳥がいるのに気が付かない人が多いので、普段からもう少し注意深く身の回りを意識して見回すことが重要である。 具体例。さらに後半が特に×
- 2 多くの保護者は英語の勉強法について勘違いをしているので、そうしたことがないように常に最新の情報を取り入れていくべきである。 具体例であり、さらに後半が特に×
- 3 同じ物事を目にしても、人によって捉え方は異なるものであり、そうした違いを越えて理解し合うことは難しい。 ◎
- 4 鳥でも自動車でもスマホでも英語の勉強でも、私たちは物事をよく観察して真実を見る目を育てていくことが重要である。 小学生の国語だといかにも正解っぽい選択肢だが、真実を見る目を育てていくことが重要。 などは一般論としてありそうだが、本文には書かれていない。

ワンポイント解説 この文章は、最初は鳥の話からはじまり、自動車の話、スマホの話、英語の勉強の話となっていますが、これらは全て具体例です。具体例をたくさん出して、それを理由に筆者の主張を言うのが一般的な文章ですから、このような文章構成に慣れていきましょう。
また、このように があると、その周辺の筆者の結論が書かれていることが多いので、注目してみましょう。

問三 空欄 ア と イ に入る言葉を選べ。

- | | |
|------------|-----------|
| ア | イ |
| (1) つまり | (1) だから |
| (2) しかし | (2) たとえば |
| (3) ◎ たとえば | (3) つまり |
| (4) そして | (4) ◎ しかし |